

| 実施年度 | 実施主体 | 対象獣種 | 取組内容 | | | |
|-------|------------------------------|------|------|----|----|---|
| | | | 捕獲 | 追払 | 点検 | 他 |
| R7～R9 | 岩手県奥州市 (奥州市鳥獣被害防止総合対策協議会) | 全般 | ○ | ○ | — | ◎ |

現状・課題

奥州市江刺伊手地区では特に高齢化や人口減少が進んでおり、地域ぐるみで持続的に鳥獣被害対策を実施していくためには、ICT機器及びデータを活用した生息状況調査に基づく効果的・効率的な捕獲モデルを構築することが必要。

事業概要

- ・センサーカメラ及びドローンにより生息・出没状況を把握・解析してデジタルマップを作成し、住民と情報共有することで、地域ぐるみの対策を推進
- ・データに基づく捕獲や遠隔監視・自動操作システム等を活用した効率的なスマート捕獲体制整備による被害防止対策の実施
- ・研修会の開催による新技術実証の普及定着の促進

活用機器※交付金活用外の機器を含む

- ・ドローン
- ・センサーカメラ
- ・遠隔捕獲機器

モデル地区の普及範囲

- ・県内

【イメージ】

鳥獣の生息・
出没状況を把握



伊手地区
鳥獣デジタルマップ（仮）

データに基づく対策

（捕獲活動への活用）
新技術による効果的な捕獲の
実施

地域ぐるみの被害防止
対策への活用（農作
物・クマ対策等）